



教えて!!



テニスコーチの

おシゴト

テニス教室には、子どもから大人、初心者からプロの選手を目指す人まで、幅広い人たちがテニスを学びにきます。「ロングウッドスポーツ」でたくさんの生徒に教えている林英樹さんに、テニスコーチの仕事について聞きました。



テニスコーチとは どんな仕事ですか？

生徒の体力や経験、年齢に合わせて毎月の指導計画を組み、毎週テーマを決めてレッスンをを行っています。テニス未経験者には、ラケットの握り方や振り方などの基本から教え、無理なく上達できるようにして、次の目標にチャレンジしてもらいます。プロを目指すような生徒には、試合や大会などを目標に、さらなるレッスンをしています。

子どもと大人では 教え方は違いますか？



ジュニアコースでは、ラケットとボールだけではなく、遊びの中から

もレッスンのメニューを考えます。例えば、ラケットを持たずにカゴでボールをキャッチしたり、ボールの代わりに風船で打ち合ったり。子どもたちは遊び



の天才なので、無限大の発想力を大切にしていきます。また、テニスの技術だけではなく、社会に出ても負けない力を育てることもコーチの大切な仕事です。

なぜ、今の仕事を 選んだのですか？ 心に残っている出来事は？



いろいろな人との出会いもあってテニスに本当に好きになったので、20歳でコーチになりました。仕事を始めてからも、たくさんの人に出会えています。生徒だった子が、大学生になって教室にアルバイトに来たり、入社してくれたりしたのは、うれしい出来事でした。

仕事をする上で いつも心がけて いることは？

子どもたちを教える時に一番心がけていることは、「ほめる」ことです。できたこと、成功したことは、もちろん



んしっかりと伝えてほめています。そして、できないこと、分からないことを、声に出して質問できた子、聞くことができた子も、思い切りほめるようにしています。分からないことを恥ずかしがらずに聞くのは、実はとても勇気が必要です。その質問できた子に、教えるようにする、助けようとする子も、ほめています。そうやって仲間を作って、友だちを増やしながら、テニスを楽しめる場所にしたと思っています。助けてもらった子が、「すいません」ではなく、「ありがとうございます」と言えるような人



もっと教えて！

テニスのコーチや 選手になるには？



いろいろなことをやって
好きなものを見つけて！

いろいろなものに手を出してほしい。そして、本当に自分の好きなものを見つけてください。失敗しても次のチャレンジに行けたい。真つすぐ目的地に着けなくても、大きな経験になります。好きなことが見つかったら、それに時間をかけてください。どんなスポーツでも、やっぱり好きになることが大切。好きなら行動できるし、頑張れます。

聞かなくてもいいから、生徒たちと向き合っています。